



日本スピッツの飼い方

柴 稠(N S C 会長)

食 事

我が家に子犬を迎え入れ、最初に直面するのが食事です。初めて犬を飼う方には無難なドライフードをお奨めします。子犬を60日齢と仮定して、幼犬用ドライフードに少し温めたミルクを入れて与えます。1回の食事量はカップ1/3程度を一応の目安とします。手づくりの場合は、野菜、魚、鶏・牛肉などをボイルし、冷ましてから与えます。成長にしたがい増量しますが、水はいつでも飲める状態にしてあげます。また、脂肪分の少ない牛生肉を極少量日常的に与えることにより、毛艶と毛の伸びに効果がありますので、参考にしてください。

食事回数は8ヶ月齢までは1日3食とし、9カ月以降から2食にします。与えてはいけない食べ物は、塩分・糖分・脂分の強いもの、香辛料、消化の悪いもの、鶏の骨で、葱・玉葱は絶対に避けるべきです。そして、人の食べているものを欲しがるときは、何とも言えない可愛い表情をつくって訴えますが、情にほだされず、『決めた時間と場所』をけじめとし、間食は躰・訓練など出来た時のご褒美として、ジャーキーを与える程度とします。愛犬の幸せのためです。

運 動

3カ月齢後リードをつけ散歩に出かけます。犬は右側を守る習性がありますので、左手でリードを短く持ち、人の左脚側を歩かせるようにします。この頃は、人や車などの騒音にも慣れさせ、犬社会も理解させる社会科勉強の時期と認識し、あまり過激な運動は避けるべきです。

5カ月齢を経過し運動を体験させます。リードをつけず広場などで全力疾走させることも良いのですが、そのような環境が身近にない場合、散歩の片道を歩調を少し早めにし、リード

を引き気味にすればごく自然な運動になります。1日2回として、1回30分程度の運動は必要でしょう。

犬 舎

成長しても使える大きさのケージタイプを、常時、中が観察できる静かな場所に設置します。特別必要がないと思われても、家族の目の届かない時など、電気コードをかじるといったような、事故防止の観点からも必需品です。また、幼犬時から「ハウス」の一声で中に入るようにしつけます。これは躰の原点で、例えば車で広場に出かけ自由に遊ばせている時、急いで呼び寄せたい事態が生じて「ハウス」で車に戻るなどは、順応性の高い犬種ですから簡単に応用できます。

季節的な対策として、夏の暑い日中は長毛犬種にとって厳しいものです。エアコンを家人の留守中に入れてあげてください。冬には原種が北方犬でもあり寒さには対応力が有ります。室内であれば毛布1枚で充分です。

特に留意したいのは、体臭の稀薄な清潔感のある犬種ですから、白い被毛をケージの錆などで汚さない為にも、犬舎は常に清潔にしてあげてください。

手 入 れ

日常は軽くコーミングする程度で充分です。脱毛期には抜けた下毛を取り除くようにゆっくり粗目の金櫛を入れます。無理してトップコートを引っ掛けますと神経質な犬種です、以後コーミングを嫌うようになります。

シャンプーは特別汚さない限り3カ月に2回程度とし、白色犬用の洗剤を使用します。注意することは、事前に抜けた下毛の除去を確実に

に行なうことと、耳に洗剤が入らないよう脱脂綿で耳栓をし、すすぎも充分に行なうことです。

乾燥にはバスタオルなどで水気を取り、ドライヤーを使います。高い温度は被毛の変色を来すことも有りますので、低温で乾燥させるようにして下さい。

この犬種のトリミングは四肢と耳先です。前肢腕球・後肢飛節以下と爪際・足裏(蹠球の間)の無駄毛を鋏で除去し、伸びた爪も専用の爪切りで深爪しないよう切ります。耳先は耳本体を誤って切らないよう、爪で確認しながら鈍角にカットし、耳内部は毛先を整える程度です。また、外出から帰った時は、軽く被毛のブラッシングと、四肢を湿ったタオルで拭いてあげるようにします。

健康管理

日頃の健康チェックは、食欲と排便で異状を察知できます。予防注射や定期的な健康診断などで、主治医的な動物病院を決めておき、異変には慌てることなく余裕のある環境設定をし、診察していただくよう心掛けておくことが必要です。

日本スピッツは頭も良く、表情豊かなうえ丈夫な犬種で、接しているうち言葉を理解するようになり、表情や動作を交えて語りかけてきます。日頃のコミュニケーションを大切に、異状の早期察知が出来るようにしましょう。

短い命です。生のある限り共に楽しく幸せに暮らしたいものです。

(誠文堂新光社「愛犬の友」2003年5月号より)



筆者と愛犬(Musset)